

6月11日（木） 体験が一番勉強になる

一年生が図工で、粘土を使って勉強していました。粘土に初めて触った子もいたようで「気持ち悪い」と言って、最初はいやがっていました。でも、その楽しさが分かると、どんどん手が動いて、いろいろな形を作っていました。

五年生は田植えを行いました。田んぼの土の中に入ったことはありますか。普通の土と違って、長靴をはいていても深いところまで入ってしまい、動けなくなってしまう。皆さんが食べているお米は、こういう作業をしてくれる人のおかげでできているのです。

粘土しても、田植えにしても、一度でもやってみるということは、とっても大切なことなのです。実際に自分でやってみることを「体験する」と言います。本やインターネットで分かることはたくさんあります。でも、実際に自分で体験した方が、たくさんの大事なことを学べるのです。

豊岡小学校の子には、たくさんの素敵な体験をしてもらいたいと願っています。

村越 新